

2010年10月15日

鳥取市長 竹内 功 様

日本共産党鳥取市委員会
委員長 角谷敏男
日本共産党 鳥取市議団
団 長 村口英子

市民の命と健康、子どものすこやかな成長に関わる申し入れ

日本共産党鳥取市委員会は、いま「市民アンケート」に取り組んでいます。アンケートを配布した直後から次々と回答がかえり、すでに400通を超えました。

その特徴は、「暮らし向きについて」の問いにたいして、「大変苦しくなった」が24.5%、「苦しくなった」が47.3%と、あわせ7割を超える市民が「生活が苦しい」と答えています。

そして、「力をいれてほしい」ことの一番に、「国保料の引き下げ」が57%、つづいて「介護保険料の引き下げ、利用料減免」が50%、「年金の改善」が48%、「高齢者の医療費の窓口負担軽減」が42%、「若者の雇用拡大」が38%と続きます。

アンケートを集約した結果を報告するとともに、要望の多かった以下の内容について申し入れるものです。

記

- 一、 国保料を引き下げること。新しい保険証のカバーを市民に送付すること。
- 二、 介護保険料の利用料負担を軽減し、必要な介護を受けられるようにすること。
- 三、 特別養護老人ホームや老人保健施設等の介護施設を増やし、早急に入所待機者を解消すること。
- 四、 福祉施設の増設などの施策とあわせ、地元企業の仕事創出と雇用増の取り組みをすすめること。
- 五、 お金のあるなしにかかわらず、安心して子どもが受診できるよう、入院をふくめ、子どもの医療費窓口負担を現在の一部負担から無料にすること。
- 六、 保育所の定員超えを解消し、待機児をなくすため、保育所を増やすこと。
- 七、 暑くて集中できない授業を解消するため、小中学校の全教室にエアコンを設置すること。

以上